

#### 第四十一回句会 俳句

##### 【高点句】

- ☆春寒し誤解の解けぬまま別れ 〈明美〉  
☆友逝きて残る口紅春寒し 〈撫子〉  
☆無人駅蒲公英咲きし海広し 〈童心〉  
☆病名のわからぬままに寒明くる 〈明美〉

##### 【各自一句】

- ・お遍路に米手渡せり祖母の背な 〈茂〉  
・借りる軒無き裏通り春時雨 〈静〉  
・春寒し賑わいあとに部屋ひとり 〈童心〉  
・からからと空き缶駆くる春早し 〈眞澄〉  
・兜太逝く戦さの絶へぬ春寒し 〈千恵〉  
・灯台は白くつらつら椿かな 〈明美〉  
・古民家の雨戸重たし春寒し 〈莫院〉  
・春寒し日向に塵の溜まる朝 〈安津子〉  
・雪吊の一役終へて園に在り 〈一馬〉  
・蒲公英の白き樹液に綿帽子 〈隆司〉  
・廃屋の庭たんぼの生きており 〈撫子〉

\*以上、31句（3句ずつ10名と1句が1名）より、選句は11名により4句ずつと1名は2句

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で4句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）